

□講義科目(基礎科目)

科目名	経営管理概論	2単位
担当者	柳 在相	
テーマ	医療福祉の経営戦略とマネジメント	
科目のねらい	<p><キーワード> 戦略的意思決定、戦略策定の進め方、経営戦略の中核理論、戦略と組織の相互浸透、組織と成果のマネジメント</p> <p><内容の要約> 本講義の狙いは、組織の存続および持続的成長に着目し、経営戦略の策定及び実行におけるマネジメントの役割が理解できるように努めることである。まずは経営戦略の中核理論について体系的に理解を進めた上で、組織の本質や組織文化、戦略的組織などについて検討する。そして、イノベーションの構図やパターン、変革のリーダーシップなどについての知識を吸収した上で、現実の事例をとりあげ、ケース・スタディをおこなうことにする。</p> <p><学習目標> ＊医療・福祉マネジメントに関わる基礎的諸概念の応用例を示すことができる。 ＊医療・福祉組織におけるマネジメント及び多色種連携の意義を把握できる。 ＊自らの考えを明確かつ論理的に組み立てて他者に説明し、意見交換できる。 ＊基本的人権擁護の意義や個人情報保護の必要性などを説明できる。</p>	
授業の進め方	第 1 回 経済とは何か 第 2 回 マネジメントとは何か(経営組織としての使命と役割) 第 3 回 「クロズド組織(管理論)」から「オープン組織(戦略論)」へ 第 4 回 医療福祉のための経営戦略(1) 第 5 回 医療福祉のための経営戦略(2) 第 6 回 医療福祉のための経営戦略(3) 第 7 回 医療福祉のための経営戦略(4) 第 8 回 組織マネジメントの基礎 第 9 回 人のマネジメントとリーダーシップ 第 10 回 組織文化とマネジメント 第 11 回 経営戦略としてのイノベーション 第 12 回 医療福祉のイノベーション(ライブケース) 第 13 回 医療福祉のためのイノベーション(1) 第 14 回 医療福祉のためのイノベーション(2) 第 15 回 医療福祉の経営戦略と組織マネジメント(まとめの講義)	
事前学習の内容 学習上の注意	<p>○テキスト「経営学総論」について事前に予習すること。</p> <p>○次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。</p> <p>○毎回授業では、まず担当者から報告をしてもらった上で、ディスカッションを行うので、積極的な姿勢で臨むこと。</p> <p>○授業終了時に、次回の範囲と担当者を確認し、資料や論文を配布する場合は読んでおくこと。</p> <p>○やむを得ない事由などにより欠席する場合には、講義のZoom記録を聴取した上で、レポート提出で対応することを認める。</p>	
本科目の 関連科目	医療福祉経営論, 医療福祉政策論, 人材マネジメント論, マーケティング論	
テキスト	拙著『経営学総論』白桃書房、2020	
参考文献	拙著『ベンチャー企業の経営戦略』中央経済社、2003 拙著『JA イノベーションへの挑戦～非営利組織のイノベーション』白桃書房、2009	
成績評価 方法と基準	担当の小レポート及び期末レポート(60%)、ディスカッションへの参加度(40%)の方法で評価をおこない、全体で60%以上を合格とする。	

□講義科目(専門科目)

科目名	ソーシャルワーク論	2単位
担当者	田中 千枝子(非常勤教員)	
テーマ	ソーシャルワークを理論や方法論として、事例検討やロールプレイなどの実践を通じて理解する	
科目のねらい	<p><キーワード> ①ソーシャルワーク ②実践理論 ③社会福祉方法論 ④ミクロ・メゾ・マクロ実践 ⑤ 専門性</p> <p><内容の要約> ソーシャルワーク実践の基盤となる考え方や方法を示すソーシャルワーク実践理論やアプローチの基本的知識と支援観(倫理観)を得ることによって、とくにミクロからメゾレベルの領域のソーシャルワークの専門性の確認を行う。また実践事例を分析し、グループワークにより、コミュニケーションをはかる体験をすることで、ソーシャルワークの価値にもとづく知識・技術を検証し、さらにそれらを専門家のコンピテンスとして身につけるための集団学習およびセルフワークによる学修を行う。 方法としては、実際の事例に対して様々な教育手法により実践理論・アプローチを適用し、参加型授業によって、個人・集団・地域の一定の視点からの多様な事例の事実を観察し、理解し、分析・解釈し、評価するといった段階を経て、ソーシャルワーク実践の一連の流れを体験する。</p> <p><学習目標> 人の人生/生活に着目し、社会的枠組みにおいて福祉的課題を設定し、その科学的視点を身に着けることによって、ソーシャルワークの実践方法を理解し、組織・地域・制度に対して働きかけることができる。ソーシャルワーク理論や展開過程を問題解決に応用する能力として技能や表現を身につけ、多職種に対するコミュニケーションやプレゼンテーション等のマネジメントに役立てることができる。</p>	
授業の進め方	<p>第 1 回 オリエンテーション 第 2 回 SWの実践理論概論講義 第 3 回 援助観価値観の理論的変遷、事例による討論 第 4 回 統合理論の流れ概観、事例検討 第 5 回 バイオ・サイコ・ソーシャルモデル、ロールプレイ 第 6 回 エコシステム理論と時間:空間 エコマップとタイムライン作成 第 7 回 ピンカスミナハンの4つのシステム論、多職種連携によるエコマップ作成 組織・地域 第 8 回 GWに関する基礎理論概観、チームアプローチ協働の型 ロールプレイ 第 9 回 グループ力動論、司会の技術 事例検討、ロールプレイ KJ 法によるグループワーク 第 10回 グループワークのロールプレイ 課題に対するプレゼンテーション 第 11回 場の理論、地域福祉と評価手法 第 12回 エンパワメントエバリュエーション法、ワークショップのロールプレイ 第 13回 ソーシャルワークリサーチ、社会調査、介入計画作成 第 14回 ミクロ・メゾ・マクロに展開するソーシャルワークとマネジメント レポート 第 15回 グループ発表 まとめ レポート作成</p>	
事前学習の内容 学習上の注意	<p>○指定したテキストや資料や課題を事前に読んで学習し考えておくこと。 ○ディスカッションやロールプレイなど演習形式を多用するので、積極的に参加すること。 ○毎回授業の最初に前回授業内容に係る振り返りを実施するので、復習しておくこと。 ○毎回の授業終了時に、次回の資料や論文を配布するので読んでおくこと。 ○社会福祉学での基礎的な理論に関する知識を確認しつつ講義する。</p>	
本科目の 関連科目	医療・福祉マネジメント研究科「専門演習Ⅰ・Ⅱ」の考え方や論文作成の枠組み作成に寄与することができる なお本科目は「認定社会福祉士」の資格対象科目として認定されている。	
テキスト	なし そのつど資料・レジメ・録画等の提示をおこなう	
参考文献	渡部律子 「福祉専門職のための統合的・多面的アセスメント」 ミネルヴァ書房 (2020) 「ソーシャルワークとは何か」 川島書店 Zブトゥリム その他 授業中に提示	
成績評価 方法と基準	授業2限に1回ごとのセルフワークによる課題の提出(20%) ディスカッション・ロールプレイへの参加度(20%)、 1日ごと課題レポート3回提出(60%)の方法で評価をおこない、全体で60%以上を合格とする	

□講義科目(専門科目)

科目名	マーケティング論	2単位
担当者	小木 紀親(非常勤教員)	
テーマ	企業・医療・福祉・行政・地域・生活者などの視点から多面的にマーケティングをとらえる	
科目のねらい	<p><キーワード> マーケティング／医療・福祉のマーケティング／行政・地域のマーケティング／ケースメソッド</p> <p><内容の要約> 本講義(講義形式)の目的は、マーケティング理論を習得するとともに、市場競争及び差別化の概念と、実際の企業及び非営利組織(医療・福祉・行政を含む)のマーケティング戦略の仕組みを多面的に理解していくことにある。具体的には、マーケティング戦略の4つの軸(製品、価格、流通チャンネル、プロモーション)を中心として、関連論文、ケースメソッドなどを活用しながら、今日的な企業及び非営利組織(医療、福祉、行政など)のマーケティング活動や市場における多様なマーケティング現象を、批判的精神でもって理解・考察していく。また本講義では、医療・福祉マネジメントを強く意識し、各受講者の研究の方向性(フィードバックを含む)、ケースメソッド、ショートケースの作成なども行っていく。なお、毎回の講義においてフィードバック・ふりかえりを行う。</p> <p><学習目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・批判的精神を持ち、マーケティングの基礎と応用を理解することができる。 ・企業、医療・福祉、行政・地域等においてマーケティング的な考察ができる。 ・ケースメソッドにおける議論・作成などを行うことができる。 ・自身の問題意識や関心をまとめるために必要な情報を収集することができる。 ・医療・福祉マネジメントに関わる基礎的諸概念の応用例を示すことができる。 	
授業の進め方	<p>第1回 導入講義(マーケティングとは／批判的精神とマーケティング／評価方法)</p> <p>第2回 現代マーケティングの潮流</p> <p>第3回 マーケティングの基本体系</p> <p>第4回 製品戦略／価格戦略</p> <p>第5回 流通チャンネル戦略／プロモーション戦略</p> <p>第6回 医療・福祉のマーケティング</p> <p>第7回 行政・地域のマーケティング</p> <p>第8回 ソーシャルビジネス</p> <p>第9回 国内外論文・文献の検討</p> <p>第10回 ゲスト講義</p> <p>第11回 ケースメソッド①(企業戦略)</p> <p>第12回 ケースメソッド②(ソーシャルビジネス)</p> <p>第13回 ショートケース構想発表</p> <p>第14回 ショートケース構想に対するディスカッション</p> <p>第15回 総括及びフィードバック・ふりかえり</p>	
事前学習の内容 学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習として、先に配布する講義資料や論文を十分に予習すること。 ・次回以降の講義範囲を予習し、専門用語の意味などを理解しておくこと。 ・復習はもとより、毎講義後に課題がでるため、必ず事後学習をすること。 	
本科目の 関連科目	医療福祉経営論、経営管理概論	
テキスト	講義中に適宜指示する。	
参考文献	小木紀親『マーケティングEYE【第5版】』中部経済新聞社、2020年。	
成績評価 方法及基準	授業内レポート(約35%)、授業内の貢献度・ディスカッションへの参加度・受講態度(約25%)、課題・ショートケースの作成(約40%)、その他、などから総合的に判断し、全体で60%以上を合格とする。	

他専攻開講科目 2023年度講義日程[集中講義]

※ ●:開講時間

□ 経営管理概論（柳 在相）

日 程	開 講 時 間				
	1限	2限	3限	4限	5限
	9:20-10:50	11:00-12:30	13:25-14:55	15:05-16:35	16:45-18:15
2023年 4月15日(土)	●	●	●	—	—
5月13日(土)	●	●	●	●	—
6月3日(土)	●	●	●	●	●
7月29日(土)	—	—	●	●	●

□ ソーシャルワーク論（田中 千枝子）

日 程	開 講 時 間				
	1限	2限	3限	4限	5限
	9:20-10:50	11:00-12:30	13:25-14:55	15:05-16:35	16:45-18:15
2023年 9月16日(土)	●	●	●	●	●
9月1日(日)	●	●	●	●	●
9月18日 (月・祝)	●	●	●	●	●

□ マーケティング論（小木 紀親）

日 程	開 講 時 間				
	1限	2限	3限	4限	5限
	9:20-10:50	11:00-12:30	13:25-14:55	15:05-16:35	16:45-18:15
2023年 10月7日(土)	●	●	●	●	●
10月8日(日)	●	●	●	●	●
10月9日 (月・祝)	●	●	●	●	●

※上記講義日程は変更をする場合があります。日程・時間変更の場合には、事前にお知らせします。

※集中講義の会場は、すべて本学名古屋キャンパスです。

【他専攻履修に関する注意事項】

年度毎に社会福祉学研究科委員会が定める他専攻(通学制)開講科目のうち、社会福祉学専攻(通信教育)の院生も履修することができる科目を定めています。ただし、他専攻履修科目は全て対面授業で行われ、履修条件・単位修得条件は全て通学課程と同条件となります。

インターネット上の講義はありませんのでご注意ください。なお、他専攻科目を履修し単位認定された場合には、10単位を上限に社会福祉学専攻(通信教育)における特講科目の修得単位として、修了要件上必要となる単位数に算入することができます。